

# 日本将棋連盟札幌中央支部の将棋普及活動のご紹介

## みずなら

棋報部  
札幌支部  
本盟中央  
日連中  
支み

### 札幌市民ホール将棋大会

日本将棋連盟札幌中央支部は月1回程度、例会を持つこととし、併せて、**将棋文化の普及活動**として、一般向けの将棋大会を開催することとした。

その第一回は、3月13日(日)、札幌市民ホール第二会議室で行われた。(会報26号参照)引き続き、第二回(4月10日(日))、第三回(5月22日(日))



**札幌市民ホール**  
札幌市中央区北1条西1丁目  
NHK札幌放送局と札幌市役所との間にある。  
大通公園テレビ塔の北側すぐ。  
地下鉄大通駅31番出口正面。  
入り口は、「ホール入り口」ではなく「会議室入り口」を。

と札幌市民ホールで将棋大会を開催する予定だ。  
支部会員以外の一般の方々の御参加を歓迎している。初級者からアマ強豪まで楽しめる棋戦を複数企画し、10時～18時。(事前申し込みは不要で当日受付)参加費・一般千円(高校生以下無料)・付き添い・保護者入場無料。昼食は各自で御用意願う。対局中の食事は御遠慮頂

### 支部会員の皆さん、普及に御助力を



えーと、銀はどう動くんだったっけ？

札幌中央支部では、児童会館等を訪問して子どもたちに将棋の指導を行うこととした。現在は支部の役員を中心に4人で普及チームを立ち上げたが、児童会館は札幌市内に数十か所あり、4人ではとうてい間に

### 支部会員による児童会館訪問指導

くが、休憩コーナー等でのお弁当はOK。初めの受付後は入退場自由なので、近くのコンビニやファストフード店で昼食を仕入れてくるのも良いだろう。



合わない。広く支部会員の参加をお願いする。また**子供たちへの普及活動**に御協力下さるかたは、ぜひ支部に入会して下さい。一緒にして欲しい。

### 震災によるイベントの延期等について

会報25号でお伝えした通り、当初、日本将棋連盟は「将棋は文化であり前進する」という姿勢から、将棋を通じ夢や希望を抱き心の復興を実現するためにもイベント・行事は行うべきとしておりましたが、今なお震災の影響は止まることなく広がりに続き、予定されていたイベント・行事の多くを延期・中止することとしました。予定されていたイベント・行事の開催状況は、日本将棋連盟のホームページ (<http://www.shogi.or.jp/>) 等で御確認下さい。

### 児童会館の俊英たち



4月10日(日)の札幌市民ホール将棋大会は予定通り開催いたします。

### マスコミ掲載情報

『週刊将棋』3月2日号20面と月刊『将棋世界』4月号P251に3月13日の札幌市民ホール将棋大会の案内が掲載された。

### 支部の名称について

#### (公益認定との関係)

私たちの支部の本部である社団法人日本将棋連盟が

懸賞詰将棋

### 新作・大道詰将棋

(双玉問題・・・詰ますのはもちろん5三玉です。)

正解者の中から抽選で1名に景品。

詰手順を、適当なメモ紙に記入(お名前&連絡先も記入)して、4月10日(日)10時〜13時に、札幌市民ホール将棋大会会場で係にお渡し下さい。大道棋なので詰上がりで持駒が余るのは御愛嬌。

左右同型なので、詰手順が二通りあるが、どちらか好きな方をひとつご記入頂きたい。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
	馬	我	歩	馬	歩	我	馬	
		馬	飛	馬	飛	馬		
	と		王	角	歩		と	
			歩	角	玉			

▲なし

将棋

正式に公益認定を受けた。きつと将棋文化の継承と普及が公益に資するといふことが認められたのであろう。

連盟は4月1日からは「公益社団法人日本将棋連盟」となる見込みだ。

(公益法人制度改革については支部会報第18号に詳しく述べてあるので「参照願う」)

ここで私たちの支部の名称を再確認しておきたい。

当支部は日本将棋連盟の支部ではあるが(連盟の支店や支社のような下部組織ではなくて)、連盟からは独立した別組織(法的には「人格のない社団」)であり、私たち支部組織が「公益認定」を受けたわけではない。

法令では、公益法人でないものが公益法人と誤認・



誤解されるような名称を用いることは禁じられている。

そこで今後、私たちの支部が「公益社団法人日本将棋連盟札幌中央支部」と名乗ることは慎重であるべきだ。(私たちの支部が公益法人であるかのように誤解されかねないため違法となる恐れがある)

「日本将棋連盟札幌中央支部」と名乗るのが妥当であるうし、従来も、ほぼ、そう名乗ってきた。

この点については、日本将棋連盟普及部からも注意

のご案内を文書で頂戴している。

以上の検討を踏まえ、当団体は「日本将棋連盟札幌中央支部」と名乗ることとしたい。

本紙もその名称を採用することとする。

なお当支部の正式名称については、来たる5月22日に予定している支部会員総会で再確認したい。

### 打上げ・懇親会

指導対局・片上プロと大会運営にあたった佐藤丈瑠さん(左)

